



NO.1382

9月18日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三二四四五八
F 四三二四四七七



ごみの広域化協議会設立は

議会を軽視、住民の声を軽視

13日、網走市議会で村椿議員が一般質問をしました。

廃棄物処分場について

村椿議員は、ごみの最終処分場について、今年3月の予算議会の「当市の基本的な方向性が確立された上で広域連携の協議に臨むこと」とした附帯意見に反して、市が7月に広域化推進協議会を設立したことについて、議会軽視だとして、市長の認識を質しました。



市長は、「6月に検証と反省を行い、7月8月に説明会やまちづくり懇談会で市民と問題の共有をした。基本的な方向性は、分別の徹底と中間処理による減容化だ」と答弁しました。
※ 市が附帯意見に取り組んだ内容ですが、議会に対して答えたことになるでしょうか。

さんご草 見ごろ

網走の秋の風物詩である能取湖の「さんご草祭り」が、10日、11日の二日間行われました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、この間、実施を見送ってききましたが、3年ぶりの「さんご草祭り」となりました。



今年のさんご草は、深紅のじゅうたんの様になっていますが、一部では、これから見ごろのときも見られました。待ちに待ったお祭りなので、たくさんの方や観光客が秋晴れの下、若いカップルをはじめ若者から高齢者までが思い思いに楽しんでいました。



ごみの懇話会を混乱させた

また、広域化推進協議会の設立について、ごみ減量化等推進懇話会で「懇話会の存在する意味はなんなのか」と混乱した。混乱させた市の責任は重い市長自ら諮問した懇話会の議論を無視したことになる。設立前に説明すべきだったと質しました。
市は、懇話会を混乱させたことについて、丁寧な報告する点で配慮が足りなかつたとの答弁がありました。

本年度予算に対する附帯意見

一般廃棄物処理に係る計画の検討にあたっては、①現計画の検証と反省の明示、②市民との共有を早期に行い、③当市の基本的な方向性が確立された上で広域連携の協議に臨むこと。

沖縄県知事選挙で、オール沖縄の玉城デ

しました。自公政権丸抱えの相手候補が「辺野古移設が唯一の解決策」として新基地建設の加速を公言していることについて、最終日の10日、志位委員長は「①新基地を断じて認めない崩れない民意②超軟弱地盤での建設は技術的にも不可能の2点を挙げ、「辺野古移設」が実現不可能で普天間基地問題の解決にはならぬ」と指摘しました。「解決策は、新基地建設を断念し、普天間基地は即時閉鎖・撤去させる」。沖縄「建白書」の精神で全県民が島ぐるみで団結することにあると訴えました。沖縄県民は、それを見事に果たしたのではないのでしょうか。同時に行われた沖縄統一地方選挙では日本共産党の候補全員が当選を果たしたことも、とても嬉しく思っています。
網走も9月議会が終われば市長選挙があるので、何とか対立候補を立てたいと思っています。



村椿さん



先日、知り合いから厚生病院に通う高齢のご夫婦が病院のそばに空き家を探している、いい物件はないかと相談がありました。近くを歩いてみました。なかなか見つからないので、後援会の方に相談したところ、向かいの家が空いている、道路向かいに空き家がある、あの家も空き家だとの情報を持っていて、7軒程を一緒に回っていただきまし。こんなに空き家がと驚きました。空き家かと思ったら住んでいた、お風呂がない、日当たりが悪い、しばらく住んでいないので住める状況にない、訪ねてみると住める空き家が少ないこともわかりました。

高齢となり施設に入居。空き家となり時間の経過とともに取り壊す空き家が増える。安心して病院に通えるような施策として、空き家の有効活用を検討するのも必要なのではと思います。



流水

9月27日に安倍元首相の国葬を強行するので、下々の皆さんは5万円給付で納得してください。見え見えのバラマキと無駄使いです。参議院選挙中の畜行に倒れた元首相に敬意がないと思う人々も居る事でしょう。▼アベノミクスを喧伝して持てる人と持たざる人々の格差が拡大し、統計や数字を改ざんして、自ら部下に責任をかぶせて「いいねい」な説明は的外れ、2020五輪は利権とワイロの金まみれ、コロナ感染症は、2代に渡り無策と地方自治体に丸投げして保障せず、株式市場は「ハゲタカ」に食い散らかされ、わずかな貯蓄は目減りし、年金はチビチビと削られ、物価はドーンと上がり、日々の暮らしを圧迫しています。書けばキリがない悪政です。▼今後3年間は国政選挙が無いから何をしても自由ではないのです。「オウム真理教」の教訓を見ない政治と宗教の暴走に「きっちり」とケジメをつけて、地方から多くの声を上げて腐った政治に清水を流して行きましょう。

北見生活と健康を守る会

副会長 神田 優



大切にしたい心の自由